

第21回 金沢市サッカー協会会長杯 大会要項

1. 目的

金沢市における少年サッカーチームの連帯を強め、少年サッカーの普及と技術の向上、指導者・審判のレベルアップを目指すことを目的とする。

2. 主催・運営

金沢市サッカー協会・金沢市少年サッカー育成協議会（以下「本育成協議会」）

3. 後援

金沢市・北國新聞社

4. 参加資格

- (1)「参加チーム」は、「本育成協議会」に加盟している（準加盟を含む）チーム（以下「加盟チーム」）であること。
- (2)「参加チーム」は、原則、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (3)「参加チーム」は、スムーズな大会運営に協力すること。
- (4)「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- (5)「参加選手」は、原則として、（公財）日本サッカー協会（以下「JFA」）が発行した選手証を有するか、電子登録証（写真が登録されたもの）にて確認できる者であること。
- L8** (6) 1チームの選手の人数は8人以上とする。上限は設けないが過剰に多い人数は控えること。
- SY** (7) 引率指導者は、「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1人以上がJFA公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること。引率指導者の登録人数は制限しないが、エントリー表に記載がない場合は、ベンチ入りを認めない。
- (8)「参加チーム」は、4級以上の審判員を2人以上帯同し、責任ある審判を行うこと。
- (9)「参加チーム」は、チームの責任において傷害保険（スポーツ安全傷害保険）に加入すること。
- SY** (10)「参加チーム」は、異色のユニフォーム（正・副）及び**ビブス**を2色用意すること。
- (11) 3部制で実施する。I部は、最上級生中心のチームとする。6年生が16人以上いる場合、複数エントリーを可とするが、それぞれのチームに6年生がいること。
- (12) 6年生をII部でエントリーしたい場合は、事前に「本育成協議会」と協議すること。
- NLY** (13) 選手数が少ないことから、チームを編成するために、II部・III部の一部の選手を異なるカテゴリーでエントリーすること（以下「WE」）を認める。但し、参加確認用紙の提出前に「本育成協議会」と協議し、承諾を得ること。「WE」の適用要件は別表①のとおりとする。
- LY** (14) II部は、「WE」の選手を除いたI部及びIII部にエントリーしていない選手で編成されたチームとする。I部のみにエントリーする5年生を除き、5年生が16人以上いる場合、複数エントリーを可とするが、それぞれのチームに5年生がいること。
- LY** (15) III部は、「WE」の選手を除いたI部及びII部にエントリーしていない4年生以下で編成されたチームとする。但し、3年生以下のみで編成されたチームのエントリーは認めない。I部のみ及びII部のみにエントリーする4年生を除き、4年生が16人以上いる場合、複数エントリーを可とするが、それぞれのチームに4年生がいること。
- (16) 各部とも複数エントリーにおける引率指導者・審判員の兼務は認めない。
- SLY** (17) エントリー表の提出後、内容の変更は原則認めない。但し、傷病が理由の場合、チームが本大会初戦のメンバーチェックを受ける前までは参加選手の変更（入れ替え）を認める。その際、ゴールキーパーの変更が伴う場合は選手番号の変更も認める。但し、必ず事前に「本育成協議会」へ通知するとともに、変更したエントリー表を提出すること。
- (18) エントリー表の提出後、「参加チーム」内での移籍による変更は認めない。
- SY** (19) 転校により市外・県外チームから移籍してきた選手、及び新規登録による選手の追加は認める。追加したエントリー表を「本育成協議会」に提出し、承諾を得ること。

5. 大会形式

- (1) 8人制サッカーとし、原則トーナメント方式とする。但し、チーム数により別方式とすることも

- ある。優勝、準優勝を決定し、準決勝で敗退した2チームを第3位とする。
- (2)初戦で敗退したチーム同士による試合（以下、「交流試合」）も実施する。
- (3)本大会における競技規則は、実施年度のJFA「サッカー競技規則」及び「8人制サッカー競技規則」を適用する。
- NLY** (4)試合開始時において、選手が6人に満たない場合、棄権チームとみなし、不戦敗とする。スコアは、3-0（前半3-0、後半0-0）で相手チームの不戦勝とする。
- (5)各コートのベンチ位置及び大会プログラム左側チームのベンチ位置は、別表②のとおりとする。
- (6)試合日の第1試合開始までのタイムテーブルは、別表③のとおりとする。
- NY** (7)大雨、落雷などの特別の場合を除き、雨天でも試合を執行する。中断、中断後の再開、中止等の判断は、大会本部にて決定する。

6. メンバーチェック

- (1)試合を行うに際し、メンバーチェックを実施する。
- (2)メンバーチェックを行う時間は、その日の第1試合は試合開始の30分前、第2試合以降は前の試合の開始予定時刻とする。試合の進行が予定どおりではない場合、大会本部に確認すること。
- (3)新型コロナウイルス感染予防のため、引率指導者1人が、正副ユニフォーム、ビブス及びメンバー表を持参し、大会本部へ集合すること。引率指導者は、事前に、爪の長さ、スネ当て・キャプテンマークの着用など、責任を持って確認し、試合に臨むこと。特にアンダーを着用する場合、色の不統一が無いよう注意すること。アンダーの色に関しては、9項(9)、(10)のとおりとするので、遵守すること。
- (4)「交流試合」においても、メンバーチェックを実施する。
- (5)ユニフォームの色が対戦するチームと同色の場合は、大会プログラムの左側チームを優先とし、右側チームがサブユニフォームに変更する。但し、ゴールキーパー1人の変更で対戦可能な場合は、この限りではない。（最終判断は、当該試合の審判と大会審判部との協議により決定する。）
- NY** (6)事前に対戦する両チームでユニフォームの色について調整し、メンバーチェックを受けること。
- (7)左側チームがメンバーチェックに遅れてきた場合、右側チームを優先とすることがある。

7. コート規格・試合球

- 8** (1)コートの長さ（タッチライン）：68m、幅（ゴールライン）：50m
- 8** (2)ゴールポストの間隔：5m、クロスバーの地面からの高さ：2.15m（少年用ゴール）
※ゴールポストは、転倒及び選手等が負傷しないよう、重石を設置するなど安全に設置すること。
- 8** (3)ペナルティーエリアの長さ：ゴールライン上から12m、幅：ゴールポスト外側に12mずつ
- 8** (4)ゴールエリアの長さ：ゴールライン上から4m、幅：ゴールポスト外側に4mずつ
- 8** (5)センターサークル：半径7mの円
- 11** (6)センターマーク：センターサークルの中央（ハーフウェーライン上）、直径22cmの円
- 8** (7)ペナルティーマーク：ゴールライン中央から8mの地点、直径22cmの円
- 8** (8)ペナルティーアーク：半径7mの半円弧
- 8** (9)コーナーエリア：半径1mの四分円
- 8** (10)交代ゾーン：ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6m（ハーフウェーラインから3mずつ）
- 8** (11)任意のマーク：コーナーエリアからゴールラインに7mの地点、及びタッチラインに7mの地点
- 11** (12)交代ゾーン及び任意のマークは、タッチライン、ゴールラインから外側に5cm離れた位置から、30cmの長さとする。
- L11** (13)ラインを引く場合は、幅12cmとする。
- 8** (14)試合球：4号球（「本育成協議会」指定、各コート2個ずつ、大会本部で用意）

8. 交代

- L8** (1)選手交代の人数制限は設けず、また交代の回数も制限しない。
- 11** (2)交代により退いた選手は交代要員となり、再び出場することができる。（再交代が可。）
- 8** (3)交代して退く選手は、交代ゾーンからコートの外に出る。但し、交代で退く選手が負傷している場合は、主審の承諾を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- 8** (4)交代要員は、交代ゾーンからコートに入り、競技者となる。
- 8** (5)交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。（ゴールキーパーは除く。）

- 8 (6)交代は、主審の承諾を得る必要はない。(ゴールキーパーは除く。)
- 8 (7)ゴールキーパーの交代は、アウトオブプレー時に、主審に通知し、主審の承諾を得て行う。
- 8 (8)交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からコートの外に出る。
- 8 (9)交代で競技者となるゴールキーパーは、ハーフウェーラインのところからコートに入る。
- 8 (10)フィールドプレーヤーとゴールキーパーを交代(入れ替え)させたいときは、アウトオブプレー時に、主審に通知し、主審の承諾を得て行う。但し、それぞれ着用するものについては、次の9項に示すとおりとする。

9. 競技者の用具(ユニフォーム等)

- NY** (1)大会実施年度のJFA「サッカー競技規則」第4条(競技者の用具)及びJFA「ユニフォーム規程(2022年2月10日施行)」(以下、「ユニフォーム規程」)に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- 1** (2)ユニフォームに表示しなければならない必須のものは以下のとおりである。
 - ・シャツ: チーム識別標章(前面にチーム名または胸にチームエンブレム、併置可)
 - ・シャツ: 選手番号(前面および背面、数字は1から99までの整数)
- 1** (3)ショーツ、ソックスへのチーム識別標章や選手番号等の表示は任意である。
- L1** (4)広告表示は禁止とする。(製造メーカー識別標章は広告と見なさない。)
- 1** (5)シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- 1** (6)シャツの前面と背面の主たる色彩は同じでなければならない。ショーツ及びソックスの前面と背面の色彩も同じでなければならない。
- SLY** (7)戦術的な理由により、フィールドプレーヤーが交代でゴールキーパーとなる場合は、他の選手や審判と区別された色のシャツ(選手番号は同じ)の着用を可とするが、メンバーチェック時に承認された場合のみとする。なお、ビブスは認めない。
- NY** (8)ゴールキーパーが交代でフィールドプレーヤーとなる場合は、フィールドプレーヤーと同じユニフォーム(選手番号は同じ)を着用しなければならない。
- L11** (9)アンダーシャツは、各袖の主たる色と同じ色で1色、または各袖と全く同じ色の柄とし、チームで統一すること。但し、白色、または黒色で統一してもよい。
- L11** (10)アンダーショーツ及びタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色とし、チームで統一すること。但し、白色、または黒色で統一してもよい。
- L11** (11)ソックスにテープやその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
- 11** (12)「すね当て」を着用すること。
- (13)取り替え式ポイントシューズ及びアルミポイントシューズの使用を禁止する。
- (14)安全上、選手の眼鏡使用は禁止する。なお、スポーツゴーグルを使用する選手は、エントリー表に記載すること。また、メンバーチェック時に確認するので、持参すること。
- (15)チームのキャプテンは左腕にキャプテンマークを着用すること。
- NLY** (16)ゴールキーパーが負傷で退く、またはレッドカードで退場になるなど、不測の事態により、メンバーチェックで承認されたゴールキーパー服を着用する選手番号の選手がいない状態となった場合、代わりにゴールキーパーとなる選手が着用するゴールキーパー服の選手番号は異なってもよい。緊急措置としてビブス(番号なし可)による対応も可とする。
- NLY** (17)上記(16)までのゴールキーパー服に関する事項については、試合の勝者を決めるために行うペナルティーマークからのキック(以下、「PK戦」)においても適用する。
- NLY** (18)「PK戦」で、戦術的な理由により、フィールドプレーヤーがゴールキーパーを行う場合、それまでゴールキーパーだった選手は、ゴールキーパー服を着用した状態でキックを行ってもよい。

10. テクニカルエリア

- L11** (1)テクニカルエリア(ベンチ)に入ることのできる人数は、引率指導者は3人以内、選手(交代要員)は上限を設けないが、過剰に多い人数は控えること。
- 11** (2)その都度、ただ1人の引率指導者のみ、戦略的指示を伝えることができる。
- (3)引率指導者は、有資格者がベンチ入りをすることに心掛けること。
- NY** (4)傷病により、交代要員として認めることができない選手は、ベンチに入れない。
- (5)交代要員は、試合中の選手と異色のビブスまたは上着を着用すること。
- (6)引率指導者及び交代要員は必ずマスクを着用すること。但し、アップ時は外してよい。

11. 審判員

- (1) 試合の審判は、主審1人と補助審判員（以下、「補助審」）1人の2人で行う。
- (2) 「補助審」は、ベンチコントロール、負傷者の対応、ボールの交換の管理、交代手続き等試合が円滑に行われるよう主審を援助するとともに、主審が試合を続行できなくなったときは交代する。
- LY** (3) 審判を3人制で行いたい場合は、主審担当チームで人数を揃え、事前に本部まで申し出ること。また、副審用フラッグは担当チームで用意すること。
- (4) 主審は、事前に審判カードを大会本部に取りに来ること。また、試合終了後は大会本部にて審判報告書を記載すること。
- (5) 「交流試合」においても、事前に審判カードを取りに来ること。また、試合終了後は審判報告書を記載すること。
- (6) トーナメント上位の試合の審判は大会本部で指名する。それまでの試合は各チームに割り当てる。
- (7) グリーンカード制度を導入する。主審は、フェアプレー精神にあふれた行動やリスペクトある行動を取った選手にグリーンカードを示す。グリーンカードは、試合開始前から試合終了後であっても、またインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、示すことができる。
- (8) 主審は、正規の審判服を着用し、胸に資格証を表示すること。
- SY** (9) 「補助審」も、正規の審判服を着用し、胸に資格証を表示すること。但し、天候等により、審判服の上に防寒服等を着用することを認める。また、必ずマスクを着用すること。

12. 試合時間・試合方法

- (1) I部の試合時間等は以下のとおりとする。
 - ・ 準々決勝までは30分（前・後半各15分）、ハーフタイムは5分とする。
時間内に勝敗が決しなかった場合は「PK戦」により勝利チームを決定する。（交流試合も同じ）
 - ・ 準決勝は40分（前・後半各20分）、ハーフタイムは5分とする。
時間内に勝敗が決しなかった場合は「PK戦」により勝利チームを決定する。
 - ・ 決勝は40分（前・後半各20分）、ハーフタイムは5分とする。
時間内に勝敗が決しなかった場合は延長戦を行う。試合時間は10分（前・後半各5分）、ハーフタイムは1分とする。
延長戦でも勝敗が決しなかった場合は「PK戦」により勝利チームを決定する。
- (2) II部・III部の試合時間等は以下のとおりとする。
 - ・ 準決勝までは30分（前・後半各15分）、ハーフタイムは5分とする。
時間内に勝敗が決しなかった場合は「PK戦」により勝利チームを決定する。（交流試合も同じ）
 - ・ 決勝は30分（前・後半各15分）、ハーフタイムは原則5分とする。
時間内に勝敗が決しなかった場合は延長戦を行う。試合時間は10分（前・後半各5分）、ハーフタイムは1分とする。
延長戦でも勝敗が決しなかった場合は「PK戦」により勝利チームを決定する。
- (3) 「PK戦」は、両チームとも同人数で行うことから、一方のチームの選手数が、相手チームより少ない場合（6～7人）、相手チームは人数が等しくなるよう、選手を減らさなければならない。
- (4) 「PK戦」は、両チーム3人ずつの選手がキックを行い、その結果、両チームの得点と同じ場合は、同数のキックで一方のチームが相手より多く得点するまで、交互に順序を変えることなく、キックを続ける。
- (5) 暑熱下の試合においては、前・後半の中程で飲水タイムを採用する。主審は飲水タイムの有無を前・後半それぞれ開始前に両チームへ通告する。なお、飲水タイムはプレー時間に含める。

13. 警告・退場

- 8** (1) 選手が退場を命じられた場合、そのチームは交代要員の中から、選手を補充することができる。主審は、選手が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (2) 本大会において、退場を宣告された選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、「本育成協議会」で決定する。
- (3) 本大会の期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 審判への侮辱により退場を宣告された選手・指導者等は、違反行為の内容により、「本育成協議会」で処分を決定する。
- NY** (5) 本大会終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は、「本育成協議会」が運営する直近の大会において順次消化する。

14. その他の注意すべき競技規則等

- 8 (1)フリーキックの際、ボールがインプレーになるまで、相手選手はボールから7 m以上離れる。
- 8 (2)スローインの際、ボールがインプレーになるまで、相手選手はスローインが行われる地点から2 m以上離れる。
- 8 (3)コーナーキックの際、ボールがインプレーになるまで、相手選手はコーナーエリアから7 m以上離れる。
- 8 (4)キックオフしたボールが直接相手チームのゴールに入った場合、得点にはならず、相手チームにゴールキックが与えられる。
- (5)負傷した選手の負傷の程度を確かめるためにコート内に入ることを許される引率指導者の数は、2人以内とする。
- (6)ハーフタイム時に、次の試合のチームは、原則そのコート内で練習してもよい。
- NY (7)試合のない時間帯があるコートにおいて、その時間は原則使用不可とする。
- NY (8)試合に際し、テクニカルエリア（ベンチ）へ行く場合、また試合後にテクニカルエリアから引き上げる場合、コートの内側を通らないこと。
- NY (9)試合中、コートとコートの間を通行することは、安全上及び試合の妨げになることが想定されるため禁止とする。但し、緊急時等の場合、関係者及び大会役員のみ通行を可とする。
- (10)本部周辺やゴール裏でのアップ等は禁止とする。
- (11)人工芝コート内での飲料は水のみとする。

15. 表彰・表彰式

- (1)表彰
 - ・優勝 …………… 優勝杯（持ち回り、レプリカ）、賞状、トロフィー、メダル
 - ・準優勝、第3位 …… 賞状、盾、メダル
- NY (2)表彰式
 - ・表彰式参加チーム … I部：4チーム、II部及びIII部：2チームずつ、計8チーム
(II部・III部の第3位チームの表彰は各準決勝終了後に大会本部で行う)
 - ・表彰式での服装 …… ユニフォーム（天候等により上着の着用可）

16. 経費

- (1)大会運営は参加チームの参加費で賄い、不足が発生した場合は、「本育成協議会」が負担する。
- (2)試合会場までの交通費等及び大会参加に必要な経費は参加チームの負担とする。

17. 駐車場・駐車マナー

- (1)城北市民運動公園では、市民野球場の西側に隣接する「北第1駐車場」を使用すること。但し、管理者から別途指示された場合は、その指示に従うこと。
- (2)まめだグラウンドでは、各チームに「上流側」、「下流側」、「Eコート」の駐車場を割り当てているので、順守すること。また、若宮大橋の下は駐車禁止であるため、絶対に駐車しないこと。
- (3)会場周辺での路上駐車は絶対にしないこと。
- (4)車の車内前部に所属チーム名を必ず表示させること。所属チームが不明の場合、駐車場への乗り入れを断ることがある。
- (5)駐車の際はマナーを守り、また駐車場係の指示に従い、他の迷惑にならないように駐車すること。駐車場係や大会役員の指示に従わない場合、駐車場への乗り入れを断ることがある。
- (6)各チーム内で相乗りを実施し、駐車台数の削減に協力すること。

18. その他

- (1)大会中に発生した負傷や疾病は各チームで対応すること。
- (2)安全のため、観戦（撮影）する際には、柵等が無い場合、コートから5 m以上離れること。また、傘を差しての観戦（撮影）は、本人も含め周囲に危険が伴うので禁止とする。
- (3)本部周辺やゴール裏、また使用していないコートに入っただけの観戦（撮影）は禁止する。
- (4)三脚や脚立等の使用は、周囲の安全が確保できないような場合、禁止とする。
- (5)チームで出したゴミ及びテント（集合場所）近くにあるゴミは必ず持ち帰ること。
- (6)石灰を使用したチームは、袋が空になった際、ゴミとして持ち帰ること。また、他の大会用として置いてある石灰は絶対に使用しないこと。

- (7)タバコは、決められた喫煙場所以外は禁煙とする。特に、選手・子供の前では喫煙しないこと。
 (8)本大会要項等に著しく違反したという事実が認められた場合は、「本育成協議会」で協議の上、該当チームへ出場停止も含め、ペナルティーを科す場合がある。
 (9)本大会の実施に際し、本要項に定めのない事項については、大会本部または「本育成協議会」が最終決定するものとする。
 (10)別紙「新型コロナウイルスの感染予防対策について」をチーム内で周知・遵守すること。

別表① 4項(13) 「WE」(ダブルエントリー)の適用要件

前提要件	参加確認用紙の提出前に「本育成協議会」と協議し、承諾を得ること	
要件1	I部の選手数が4～11人の場合、II・III部の選手が「WE」の対象選手となる	
要件2	II部の選手数が4～11人の場合、III部の選手が「WE」の対象選手となる	
要件3	「WE」ができる選手は4人までとする	
要件4	「WE」で増員するチームの最大人数は12人とする	
要件5	「WE」する選手の変更(入替え、増員等)は不可とする(但し、傷病が理由の場合、各チームの大会初戦のメンバーチェック前までは可とする)	
要件6	トリプルエントリーは不可とする	
I部での適用例		
I部人数	対 応 方 法	
1～3人	⇒ 「WE」不可(II・III部の選手をI部でエントリーする場合、その選手はI部のみとなる、またはI部の1～3人をII部でエントリーする)	
4人	⇒ II・III部から4人を「WE」し、1チーム8人でエントリーする	
5人	⇒ II・III部から3～4人を「WE」し、1チーム8～9人でエントリーする	
6人	⇒ II・III部から2～4人を「WE」し、1チーム8～10人でエントリーする	
7人	⇒ II・III部から1～4人を「WE」し、1チーム8～11人でエントリーする	
8人	⇒ II・III部から0～4人を「WE」し、1チーム8～12人でエントリーする	
9人	⇒ II・III部から0～3人を「WE」し、1チーム9～12人でエントリーする	
10人	⇒ II・III部から0～2人を「WE」し、1チーム10～12人でエントリーする	
11人	⇒ II・III部から0～1人を「WE」し、1チーム11～12人でエントリーする	
12人以上	⇒ 「WE」不可	

別表② 5項(5) 各コートでのベンチ位置及び大会プログラム左側チームのベンチ位置

コート名	ベンチ位置	大会プログラム左側チーム
交流広場Aコート	本部からコートに向かって右側	大会本部側
交流広場Bコート	本部からコートに向かって左側	西駐車場側
まめだグラウンド	本部からコートに向かって左側	犀川側
市民サッカー場A	スタンドからコートに向かって左側	金沢プール側
市民サッカー場B	スタンドからコートに向かって右側	スタンド側

※大会プログラム右側チームのベンチ位置は左側チームの逆側とする

別表③ 5項(6) 試合日の第1試合開始までのタイムテーブル

開会式を行なう日		開会式のない日	
8:00	コートでのアップ可 *まめだG不可	8:00	コートでのアップ可 *まめだG不可
8:20	コートでのアップ終了	8:30	第1試合メンバーチェック
8:25	各チーム1列で整列	8:40	コートでのアップ終了
8:30	開会式(約15分間)	8:45	第1試合コート内練習(5分間)
8:45	第1試合メンバーチェック	9:00	第1試合キックオフ
9:00	第1試合コート内練習(5分間)	//	第2試合メンバーチェック
9:15	第1試合キックオフ		
//	第2試合メンバーチェック		

※8時からアップを行うチームは、コート設営の作業の妨げとならないよう注意すること

※まめだGでは、Dコートの横のスペースか、当日使用しないコートでアップすること